



01

国語

問. 次の空欄【 X 】に入るものとして最も適当なものを次の中から選びなさい。

娘：あら、また洋子ちゃんと遊びに出掛けるの。
母：うん。洋子ちゃんと一緒だと気兼ねもいらなし、好きなものも一緒に楽しいんだ。
娘：そうか。洋子ちゃんとは【 X 】が合うんだな。大切にしたい。
娘：もちろん、分かっているよ。

A 馬 B 鹿 C 牛 D 猪

答え：A

ポイント・アドバイス

娘は洋子ちゃんと一緒にいるのが楽しいと言っています。《気持ちよく合い、行動を共にしやすい。相性が良い。》ことを「馬が合う」といいます。このような表現を慣用句といい、「猫をかぶる」「雀の涙」「犬猿の仲」「鳩に豆鉄砲」などさまざまな表現があります。



国語科：森山先生

これらの言葉を知っていれば正解にたどり着く確率はぐっと上がります。この問題で求められる力は、慣用句の意味を知っていることと文脈を読み取ることです。つまり知識量と読解力です。過去問を解いた後の見直しで知らない言葉の意味を調べましょう。また、普段から、知らない言葉に出会ったら辞書で意味を調べることを習慣にしてください。語彙が増えると読解力も伸びます。

03

理科

問. 右の図は、A～Dの各物質を水100gに解ける溶質のグラム数をグラフにしたものである。以下の問いに答えなさい。

60℃の水100 gに、それぞれの物質を溶けるだけ溶かした水溶液がある。これを20℃まで冷やしたとき、出てくる結晶の質量が最も大きいものは何か。最も適当なものを①～④から1つ選び、マークしなさい。

① A ② B ③ C ④ D

答え：①

ポイント・アドバイス

本校の理科入試では、物理・化学・生物・地学の4分野から均等に

出題されるため、満遍なく学習しておくことが大切です。特に実験手順やその意義を問う問題、図表の読み取りを扱う問題が多い傾向にあります。今回のような溶解度の問題では、「どれくらい溶けるか」ではなく、温度を下げたときにどれくらい余るかに注目しましょう。結晶の質量は「最初に溶けた量」から「冷却後に溶け続けられる量」を引いて求めます。つまり、見るべきなのは「絶対に溶ける量の大きさ」ではなく、温度差による溶解度の減少の度合いです。

理科：佐藤先生

02

英語

問.《リスニング》

5つの英文を放送します。それぞれの内容に最もよく合うものを、A～Eの中から選び、記号で答えなさい。
英文は1回ずつ放送されます。

ア	イ	ウ	エ
今日 明日 15℃ 10℃	今日 明日 15℃ 20℃	今日 明日 10℃ 15℃	今日 明日 15℃ 10℃

放送された英文

No.4 It will be rainy tomorrow, and it will be colder than today.

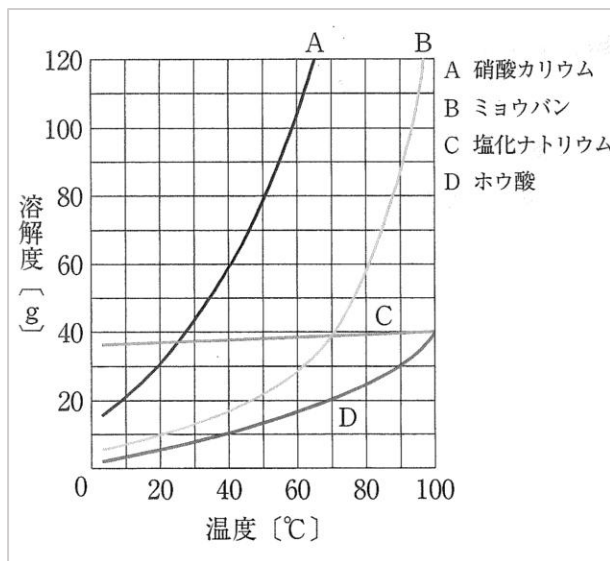
答え：E

ポイント・アドバイス

英語の入試問題では、すべての入試形態においてリスニングが実施されます。問題は、茨城県の公立高校入試の問題をベースに作成しています。ですが、茨城県の公立高校入試のリスニングではすべての問題で音声で2回流れるのに対し、本校のリスニング問題では1度だけしか音声流れない問題が多数出題されており、難易度が高くなっています。レベル的に、英検3級～準2級レベルを想定しています。リスニング問題は配点が30点と大きいので、しっかり対策をして臨んでください。

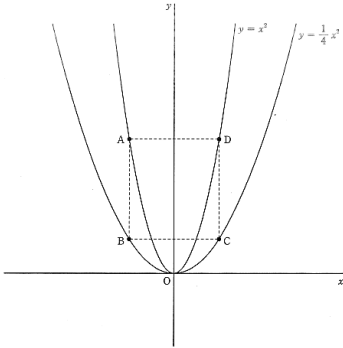


外国語科：麻生先生



04 数学

[4] 下の図のように、放物線 $y = x^2$ 上に2点 A, D、放物線 $y = \frac{1}{4}x^2$ 上に2点 B, C がある。四角形 ABCD の辺は座標軸に平行である。点 A と点 B の x 座標は負であるものとして、次の空欄に適するものを答えなさい。



- (1) 点 A の x 座標が -1 のとき、四角形 ABCD の面積は $\frac{\text{ア}}{\text{イ}}$ である。
- (2) 四角形 ABCD が正方形となるときの点 A の座標は $(\frac{\text{ウエ}}{\text{オ}}, \frac{\text{カキ}}{\text{ク}})$ である。
- (3) x 軸上に点 P をとる。点 P の x 座標は正である。(2) のとき四角形 ABCD の面積と三角形 ABP の面積が等しくなるような、点 P の座標は $(\frac{\text{ケ}}{\text{コ}}, \frac{\text{ク}}{\text{コ}})$ である。

答え：

ア：3 イ：2 ウエ：-8 オ：3 カキ：64 ク：9
ケ：8 コ：0

ポイント・アドバイス

2次関数の入試問題としては、典型的な問題です。

(1) を解く際にも、数式の「仕組み」を意識して式を組み立てましょう。その考え方が (2) 以降のヒントになります。

(2) からは、点 A の座標が分かりませんので、文字において考えましょう。ここで、ひとつ工夫が必要になります。点 A の x 座標は、負の数ですから、「点 A の x 座標を -t と置く」として考えてみましょう。そうすることにより、点 B, C, D の座標を t を用いて表すことができるでしょう。さらに、座標から縦の長さや横の長さを t を用いて表しましょう。「正方形になる」という問題文を「縦と横の長さが等しい」という特性に結びつけて式を作れば、正答にたどり着くことができると思います。

(3) は「(2) のとき」ということで、(2) を正解しなければ正答することができませんが、線分 AB を底辺として $\triangle ABP$ を考えれば、面積の関係から正答することができると思います。



数学科：小池先生

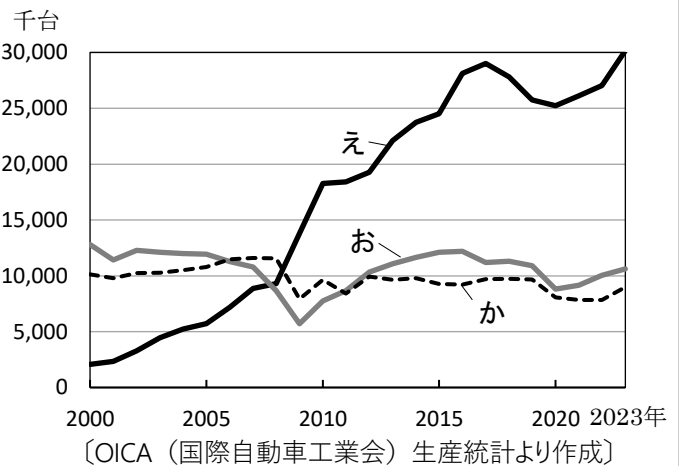
05 社会

問、資料3のえ〜かは、2000年以降に自動車生産台数が世界一になったことのある日本、中国、アメリカ合衆国の3か国について、自動車生産台数の推移を示したものです。え〜かと国の組み合わせとして適切なものを、下の①〜⑥から一つ選びなさい。

ポイント・アドバイス

現在、日本メーカーの自動車の3分の2は海外の工場生産されており、日本の生産台数には含まれません。えは2000年以降、各国の工場が進出し、急速に工業化が進展した国です。お・かは、2011年にも減少していることに注目してください。

資料3 自動車生産上位3か国の自動車生産台数の推移



- | | | |
|---------------|-----------|-------------|
| ① [え 日本 | お 中国 | か アメリカ合衆国] |
| ② [え 日本 | お アメリカ合衆国 | か 中国] |
| ③ [え 中国 | お 日本 | か アメリカ合衆国] |
| ④ [え 中国 | お アメリカ合衆国 | か 日本] |
| ⑤ [え アメリカ合衆国 | お 日本 | か 中国] |
| ⑥ [え アメリカ合衆国 | お 中国 | か 日本] |

答え：④

社会科：石塚先生

2026年度入試日程（高等学校）

[単願推薦入試]

2026年 1月9日(金)

[一般入試:5教科]

[併願推薦入試(千葉県受験生対象)]

2026年 1月15日(木)

[一般入試:特色型2教科(数学・理科)]

2026年 1月17日(土)